

妻高だより 第91号

平成 29 年 1 月 10 日発行

〔発行元〕 宮崎県立妻高等学校
〔発行責任者〕 校長 門田 誠
〔連絡先〕 Tel 0983(43)0005
Fax 0983(43)0004
<http://www.miyazaki-c.ed.jp/tsuma-h/>



携帯用

満喫！ 修学旅行！！

12月5日、2年生は4泊5日の修学旅行に出発しました。

1日目は東京大学で学食体験，国会議事堂の見学をしたのち，長野県・湯の丸高原へ移動。3日目の午前中までスキーを体験しました。午後は東京にもどり，パナソニック，東京都庁など4つのコースに分かれてキャリア研修をおこない見聞を広めました。4日目はクリスマス仕様に彩られた夢の国，東京ディズニーランド！ 最終日は都内班別自主研修ののち，無事に帰宮しました。

一面に広がる白銀の世界も，多くの人が行き交う大都会の空気も，ほとんどの生徒にとっては初めての経験。級友との親交もさらに深まり，学校の中だけでは得難い貴重な5日間となりました。

12月5日から9日にかけて，東京・長野へ修学旅行に行きました。この旅行の中で，僕にとって一番思い出に残っているのは，長野で行ったスキー研修です。初めての雪で，さらにそこでスキーをするのも初めてでした。インストラクターの方に基本を教えてもらいましたが，最初のうちは，基本はおろか，まともに立つこともできませんでした。しかし，最終日には，グレンデの頂上から滑れるまでになりました。思い出がたくさんできた5日間でした。 永友 孝誠（児湯るびなす出身）



あけまして おめでとうございます

いつも「妻高だより」をご覧いただき，ありがとうございます。今年も，妻高のようす，生徒たちの頑張っている姿を逐次発信していきますので，よろしくお願ひいたします。



インターンシップ ～ 普通科1年生

12月6日から3日間、31か所の企業・施設等で、普通科1年生のインターンシップ（職場体験）がおこなわれました。わずかな期間でしたが、実社会に触れることによって教科書だけでは学べないことを体感でき、自分の進路について考える、貴重な機会となりました。

各事業所のみなさまにおかれましては、年末の慌ただしい中ご協力いただき、感謝申し上げます。

職場体験を終えて思ったことが2つあります。1つ目は、親の苦勞です。実際に職場というものを体験したことによって、部活動とは違う精神面での疲れを体感し、親の苦勞がわかりました。2つ目は、挨拶の大切さです。1日目に挨拶が悪く叱られました。店長さんから、挨拶をしないと見た目で損をするという話を聞いたことが、一番印象に残っています。3日間疲れもありましたが、貴重な体験になりました。

黒木 悠杜（三納中出身）



初めての実習 ～ 福祉科1年生

12月5日から16日まで、福祉科1年生30名が、9か所の福祉施設で10日間の実習に臨みました。9月にも3日間、同じ施設を見学していましたが、利用者の方々と直に接する本格的な実習は、今回が初めてとなります。介護福祉士国家試験の受験資格を得るためには、3年間で51日に及ぶ施設実習をクリアしなければなりません。1年生も高校に入学して9カ月。介護福祉士を目指し、日々成長しています。



12月に10日間の介護実習に取り組みました。介護技術面では、常食・粗刻み食・刻み食・ミキサー食など利用者様の食べる力に合わせて食事の形態が工夫されていることや、一口の量はスプーン一杯を目安にすること、誤嚥を防ぐために食事の前に喉を潤すこと、食事に集中していただき飲み込んだことを確認することの大切さを学ぶことができました。2週目には私たちが計画したレクリエーションを実施させていただきました。リハーサルをすると道具や声かけなど足りない物が見え反省する点もありましたが、自己紹介をすると質問して下さる方や笑顔で楽しんで下さる姿をたくさん見ることができ嬉しかったです。

10日間、緊張や不安もありましたが、利用者様からいただいた感謝の気持ちが心の支えになり頑張ることができました。また、日を重ねるごとに自分自身への課題が見つかりました。自分から質問することが少ないと学ぶ機会を逃してしまいます。2年生の実習では、周りを見て気になったことや分からないことは積極的に質問していきたいです。

五六 裕也（妻中出身）